

防災関係情報コーナー

◆ 横浜市避難ナビ

マイ・タイムラインの作成から避難所検索、災害時の避難情報の受信などができるアプリです



横浜市避難ナビ

◆ 横浜市防災情報 E メール

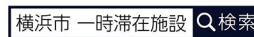
地震震度情報、気象警報・注意報等をはじめとする防災情報を E メールで配信するサービスを行っています
【登録方法】右の二次元コードからメールを送信してください



横浜市防災情報 Eメール

◆ 帰宅困難者「一時滞在施設 NAVI」

トイレや水道水の提供を受けることができる帰宅困難者一時滞在施設を検索することができます



横浜市 一時滞在施設

◆ わいわい防災マップ（洪水・土砂災害等）

災害発生時に予想されるさまざまな危険や、それらに備えるための情報が掲載されています



わいわい防災マップ（洪水・土砂災害等）

◆ 横浜市水防災情報

市内外の河川の水位やカメラ画像をリアルタイムで公開しています



横浜市水防災情報

津波への備え

◆ 事前対策

- 自宅や職場などのまわりで、避難に適した高台や建物の位置を確認
- 避難に必要な時間を確認

◆ 津波への対応方法

- 大きな揺れを感じたり、津波警報を聞いたりしたら素早く避難
- 高台や頑丈な建物の高い階に避難

※津波は複数回押し寄せる可能性があるため、警報が解除されるまで海岸に近づかないでください

※川をさかのぼって内陸に到達する可能性があります

◆ 津波に関する情報

- 津波からの避難に関するガイドライン



津波からの避難に関するガイドライン

● 避難指示

横浜市が発令する避難区分	津波予報	発表される津波の高さの予想区分	
		数値での発表	巨大地震の場合
避難指示	津波警報	3m	高い
	大津波警報	5m	巨大
		10m	
		10m超	

揺れが落ち着いた後

どこに避難する？

避難時の注意点

- 電気のブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉める
- 車は使わず、徒歩で避難する
- 狭い道、川べり、がけなどを通らない
- 高齢者や障害者、乳幼児がいる場合は協力し合う

避難時の服装



自宅

自宅または周辺で火災や建物倒壊の危険がないときは避難の必要はありません

様子をみる
近所で助け合う

いっとき避難場所

近くの公園など、自宅の周辺が安全かどうか様子を見たいときの一時的な避難場所
※近所で決めておきましょう

自宅で生活ができない

地域防災拠点

自宅の倒壊などにより自宅に戻れなくなった場合に一定期間避難生活を送る場所

特別な配慮が必要

福祉避難所

高齢者や障害者など、特別な配慮が必要な人のための避難所
※直接行かずに、地域防災拠点に相談してください

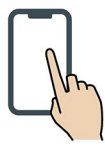
広域避難場所

火災が大きくなった場合に一時的に避難する場所

正確な情報に基づき行動し、協力し合おう！

◆ 正確な情報の収集

- テレビ、ラジオ、インターネットなどを通じて災害の規模や被害状況、津波情報などの情報を収集しましょう
- 自宅とその周辺で、壊れている箇所や出火、がけ崩れがないか確認しましょう



◆ 隣近所の助け合い

- 救助を求めている人や、高齢者・障害者など自力での避難が困難な人がいるときは、助け合いましょう



「助けて」を表す手話
親指を立てて、片方の手で甲を約2回たたく

◆ 外出中に帰宅困難になった場合

- 職場など外出先にとどまりましょう
- 帰宅せざるを得ない場合は、広い道路を歩き、周囲の人と協力し合ひましょう

※職場などに宿泊準備、運動靴、地図を備えておき、帰宅経路を歩いて確認しましょう

● 災害時の要援護者支援の仕組みづくり

要介護度3以上の人や障害者など、自力での避難が困難で援護を希望する人について、地域で避難を支援する仕組みづくりに取り組んでいます

☎ 区役所高齢・障害支援課 ☎ 510-1768 ☎ 510-1897
☎ 区役所福祉保健課 ☎ 510-1826 ☎ 510-1792

家族の安否を確認するには？

◆ 災害用伝言ダイヤル「171」

声の伝言板です。利用ガイダンスに従って録音・再生してください。携帯電話からも利用できます
※事前の契約は不要です
※利用開始や録音件数などの条件については、NTTが決定し、テレビやラジオでお知らせします



災害用伝言ダイヤル「171」

◆ 携帯電話 災害用伝言板

携帯電話のウェブページに開設されます。詳しくは、加入している携帯電話会社にご確認ください

◆ 災害用伝言板「web171」

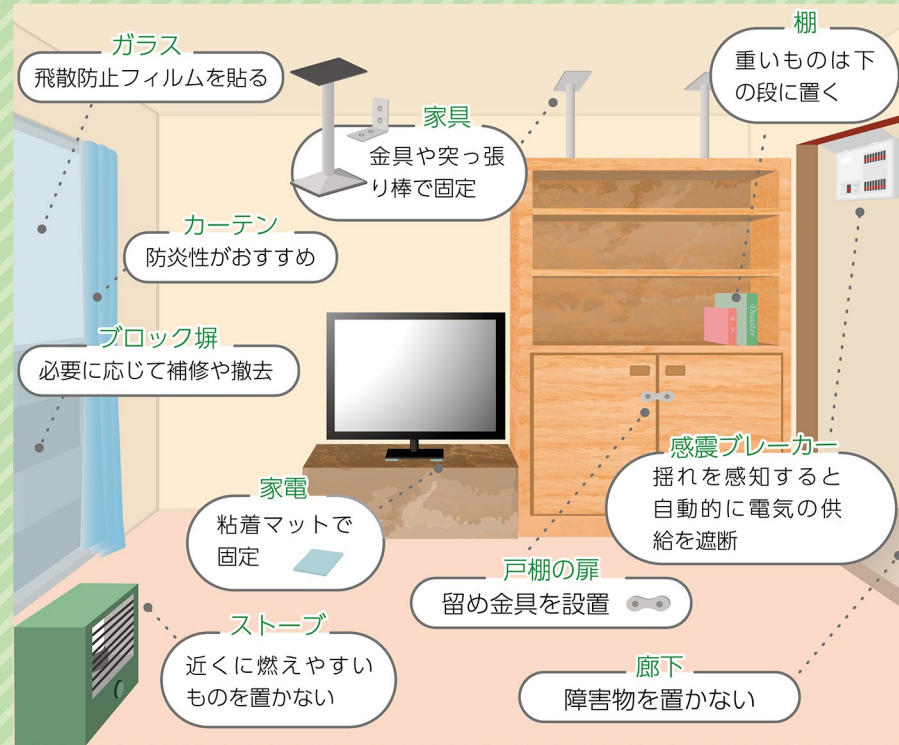
インターネット上で安否確認ができます



災害用伝言板「web171」

日頃の備え

家の内外の安全チェック



特に重要な備蓄品

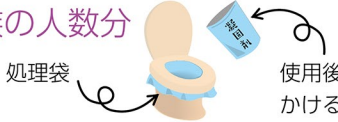
◆ 飲料水は3リットル×3日分×家族の人数分

1人あたり9リットルが目安
※風呂の残り湯をためておくと、トイレや消火に役立ちます



◆ トイレパックは5個×3日分×家族の人数分

1人あたり15個が目安
※ホームセンターなどで購入できます



◆ 簡単に食べられる保存食を用意しましょう

※アレルギー対応食品、液体ミルク、離乳食など、各家庭の事情に合わせて必要なものをそろえましょう



◆ カセットコンロ・ガスボンベを用意しましょう

停電やガスが止まっても、お湯を沸かしたり食材を温めたりできます

最低3日分は備蓄しよう！



在宅避難のすすめ
必要な備蓄や、防災対策などご確認ください



地震が起きたとき

家やオフィスにいたら…

- 身の回りの物で頭を守る
- 靴などを履いて行動する
- 外に飛び出さず出口を確保する
- 揺れがおさまってから火を消す

外出していたら…

- 姿勢を低くし頭を守る
- 地割れや陥没した場所、ブロック塀には近づかない

山、川、海にいたら…

- 崖から離れ、落石に注意する
- ダムの決壊による急激な増水に備え、川や谷底から離れる
- 海岸周辺では、津波に備え高いところに避難する

エレベーターの中にいたら…

- 全ての階の停止ボタンを押し、最初に停止した階で外に出る
- 無理に脱出しようとせず、落ち着いて救助を待つ

車を運転中だったら…

- エンジンを切り、道路の左側に停車する
- 徒歩で避難する場合は、連絡先と鍵を車内に残す（車検証は持っていく）

状況に合わせて身の安全を確保してね



医療機関の確認

CHECK 災害時は、「緊急度」「重症度」によって受診できる医療機関が異なります。事前に確認しておきましょう。



横浜市災害医療

